

おごおり 社会福祉協議会だより

No.152

2014

7



【昭和38年の大水害】

昭和38年6月30日の雨量計によれば372ミリの記録で、28年水害を超えた大記録である。

宝満川の西側では大板井付近で堤防が決壊し、この濁流に加えて秋光川が氾濫決壊して端間北側の堤防を襲った。

ほんの一瞬のうちにこの堤防は壊れ、さらに勢いを増した濁流は端間の家々を次々に直撃した。～

小都市史 第三巻 通史編第十節より

特

集

災害ボランティアセンター



平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、延べ139万7,300人のボランティアが全国から駆けつけ「ボランティア元年」と言う言葉を生みました。

東日本大震災の被災地における、初期のボランティア活動は、被災家屋のがれき除去や清掃、救援物資の仕分け作業、避難所の環境改善活動等が中心でした。その後、仮設住宅等へ生活拠点が移り、求められるボランティア活動は、生活支援、安否確認、孤立防止などが中心となって現在もボランティア活動が続けられています。

災害列島と言われ、昔から自然災害に立ち向かってきた中で、近年「ボランティア」という言葉が復興のキーワードになっています。

特集 災害ボランティアセンター インタビュー

平成24年7月 九州北部豪雨災害 被災地 うきは市災害ボランティアセンター
うきは市社会福祉協議会 相良照美さん・佐藤洋美さんにお話をいただきました

平成24年7月、九州北部豪雨の際、災害ボランティアセンターを設置され、設置直後と軌道に乗るまでの様子をお伺いします。

うきは市では、7月13日から14日にかけて今までにない大雨が降り、筑後川支流の隈の上川が氾濫し、流木や土砂で家屋が倒壊したり、床上・床下浸水が起きたり等、甚大な被害が出ました。

また、浮羽町田竈(たごもり)地区では豪雨で県道が崩落し、7月24日まで孤立するといった事態も起こりました。そこで、7月16日、うきは市社会福祉協議会(以下、社協)吉井事務所が入居している総合福祉センター内に、「うきは市災害ボランティアセンター」を設置しました。

主に民生委員児童委員さんや区長さんを通じて、市内の被災状況とニーズ(依頼)の調査を行ったところ、開設初日に15件のボランティアの要請があたりました。

同時に、防災無線、ホームページ、ツイッターやフェイスブックにて、ボランティアの募集も行い、センター開設3日後には、1日に50名

程度のボランティアの方々にご協力いただくことができました。

また、地元ボランティアとして各関係団体にお問い合わせしたところ、JA青年部や青年会議所、商工会青年部等に率先して活動していただきました。

住民の方々が自ら地域の被災状況を把握していたという事例や、住民同士の助け合いの事例等がありましたら教えてください。

2年前の災害では、民生委員児童委員さんや区長さん、福祉委員さん等が率先して、要支援者の安否確認等を積極的に行っていたいただきました。

ある地区では、雨の中、区長さんが床上浸水してきたお宅に裏口から声をかけ、その高齢者をおんぶして地区の公民館まで避難していただいたり、床上・床下浸水した一人暮らし高齢者宅の骨上げなどを地域の方が率先して行っていた。災害ボランティアセンターからニーズ調査に行ったときには、すでに片づけが終わっていたという事例もありました。

また、ある被災した地区では、地元の方が助け合って公民館で炊き出しを行ったりと、多くの地区で地域の助け合いが行われた事例をお聞きすることができました。

災害により甚大な被害があったことはとても悲しいことですが、何かあった時に助け合える「うきは市の地域の力」を改めて見直すことができ、日頃の地域でのあたたかい絆づくりがやはり大切だと感じています。



被災者のお宅にボランティアを派遣する前と後、被災者の方の変化をどのように感じましたか？

当時、被災された方から連絡があった際に直接お会いし、現場確認をさせてもらう業務をしていました。

やはり、被災された方の表情は暗かったですね。少しでも家の中を片付けようと気持ち的にも無理をされている様子でした。

ボランティアさんの協力により片付いた家の中を見ると少し表情が和らぎ、何度も感謝の言葉を口にされていました。

災害ボランティアがお手伝いに行った所には、一年後も確認に行きました。「あの時は本当に助かった」と笑顔で話され、「来てくれたボランティアさんは、福岡市内から来てくれていたよ」と当時のボランティアさんの事も話をされる方もおり、多くの方の協力に感謝されていました。



今後、被災地へボランティアに行かれる方へ何かアドバイスがあればお願いします！

今後災害ボランティアに行かれる機会があった際には是非、3つの点にご注意下さい。

1点目は、お住まいの社会福祉協議会にてボランティア活動保険に加入してから被災地に向かっていたいただくことです。

お住まいの社協で事前に保険に加入しておけば、被災地までの移動における事故も補償対象となるので安心です。なお、保険の有効

期限は年度毎になっています。

2点目は、十分な準備をおこなっていたいただくことです。水害にとってもなう泥だしや片付けの災害ボランティアに行く際の服装は、汚れてもいい服で、受付の際にすぐに動けるようにしましょう。

なかにはボランティアセンターで着替えをする方がおられました。が、どここの場所にも更衣室が設備されている訳でもありません。また夏場であっても長袖・長ズボン・長靴・帽子等を準備していただけならと思います。そして、お手伝いに行く場所によっては終日活動することもありますので、水分やお弁当等お昼の準備もしてご参加ください。

最後に3点目です。災害ボランティアについては、被災地に入る前に的確な情報入手をしてください。「被災地」の状況は、それぞれ地域で異なります。災害ボランティアセンターのホームページ等で状況を確認のうえ、ご協力いただけたいと思います。

における活動の流れ

「市町村災害ボランティアセンターマニュアル」より転載：2014.6.27承諾済

③オリエンテーション



被災者のプライバシーの保護や寄り添うことの大切さなど、活動上の留意事項等の説明を受けます。

④マッチング



被災者からの依頼内容の説明を聞き、参加したい活動に手を挙げ、活動先を選択します。

⑥資材の貸出し・送迎



必要な資材等の貸出しのチェックを受けます。
必要に応じて作業用車両の貸出しやボランティアの送迎も行われます。

⑤グルーピング



グループをつくり、リーダーを決め、詳しい依頼内容の説明を受けます。

『災害ボランティアセンター』

熊本県社会福祉協議会・熊本県ボランティアセンター

①ニーズ受付



「被災者からの依頼」を受け付けます。必要に応じて、依頼促進のチラシ配付や現地調査を行います。

②ボランティア受付



受付票とボランティア活動保険加入カードへの記入、名札の作成を行います。

⑧活動報告



リーダーは活動状況と活動継続の有無をスタッフに報告します。活動継続が必要な場合は引継ぎ事項を伝えます。

⑦救援活動



「被災者に『寄り添う』」という気持ちを大切にしながら、福祉救援活動を行います。

社会福祉協議会事業報告

生活保護受給者数が215万人を超え、非正規雇用労働者や年収200万円以下の給与所得者も増加、高校中途退学者5万4,000人以上、小中学校不登校者約11万7,000人、ニートと呼ばれる者約60万人、ひきこもり状態にある子どものいる家庭約26万世帯など「生活のしづらさ」「生きづらさ」を抱えている人たちが増えてきています。

社会福祉協議会は、地域の課題に対し包括的連携と個別支援、早期発見、継続支援など柔軟な行動を努力目標に掲げ推進してまいりましたが、充分であるとは言えません。

行政計画である「地域福祉計画」策定後「地域福祉活動計画」策定に向け、課題を整理し、解決に向けての行動を明確にする必要があります。

相談【そうたん】窓口

- 《心配ごと相談》 毎週木曜日 13時～16時
①一般相談 27回 ②弁護士相談 24回
相談件数 185件
- 《資金貸付相談》 相談件数 69件
①緊急援護資金貸付件数 9件
②生活福祉資金貸付件数 13件

福祉教育【まなび】

- 《福祉用具、福祉教材の貸出》
体験学習のため、車いすやアイマスク、白杖、高齢者疑似体験セットの貸出し。
- 小郡市内の学校における福祉体験学習支援
①小学校7校 中学校4校 特別支援学校に対し福祉教育協力校助成を行う。
②小・中学校の総合学習及び職場体験学習の指導
4回 延人員 58名
③福祉教育読本「ともに生きる」の配布。
小学校4校 297冊



●社会福祉協議会実習受入

社会福祉分野専門職の育成を目的とした現場実習。
高校・大学・専門学校・社会人等の実習生受入れ 9名

広報活動

- 《社会福祉協議会だより》
年5回（5.7.9.1.3月）約2万900部/1回発行し、市内全世帯に福祉情報紙を配布。
- 《ホームページ》 <http://shakyo.ogori.net/>

住民参加による福祉活動を進める事業

- 《ふれあいネットワーク活動》
①小地域福祉活動「ふれあいネットワーク」活動を推進するため市・校区推進委員会の開催、支援、新任区長、全体研修会を実施。
②「ふれあいネットワーク」活動助成事業
市内全60行政区中、59行政区から活動の申請があり、合計2,490,000円の助成を行う。
③救急医療情報キットの配布 累計現在686件

ボランティア【共に生きる活動】

- 《ボランティア情報センター運営》
①ボランティア活動部屋使用延利用人員 5,187人
②ボランティア保険加入 1,650人
③ボランティア相談件数 103件
④福祉機器の貸出 444件
⑤福祉レクリエーションボランティア講座の開催 5回
延受講者 182名
⑥手話奉仕員養成入門講座 24回 修了者 16名
⑦ボランティア入門講座 4回 延受講者209名
⑧災害ボランティアセンター設置訓練 6月9日開催
⑨ボランティア活動団体助成（5団体）
⑩ボランティア連絡協議会活動支援

地域と子どもへの支援

- 《公民館・神社等遊具、ベンチの補修》
子どもの遊び場づくり、誰もが集える場所づくりとして、市が管理する公園以外の公民館や神社等の遊具やベンチの補修を実施。
- 《立て看板の配布設置》
注意喚起のための地域見守りの立て看板。
44行政区に101本配布設置
・地域見守り 47本
・飛び出し注意 54本



平成25年度 小郡市

在宅福祉サービス

- 《介護保険事業》
 - ① 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
 - ② 訪問介護・介護予防訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
- 《障害者自立支援法居宅介護事業》
障害者に対するホームヘルプサービス
- 《生活管理指導員派遣事業》（市受託事業）
- 《日常生活自立支援事業》 利用者 17名
認知症、障害などで判断能力が不十分なため、日常生活に困っている方に福祉サービスの利用や日常金銭管理のお手伝いを行う事業。
- 介護予防のための《脳の健康教室の開催》
ボランティア明日葉による教室運営。毎週金曜日、「あすてらす」で開催。
教室開催日 前期22日、後期22日、全44日

貸出【かしたし】

- 《福祉バス運行》
利用回数 166回
延利用者 3,565名
- 《車いすの貸出》
- 《車いす対応車両の貸出》 貸出回数60件



障害者地域活動支援センター

- 《じょいわーく》
障害者地域活動支援センターⅢ型



障害の種別に関係なく、障害を持った方が地域の中で生活できるように、生活支援や生産活動の機会の提供を行う場として運営を行う。

開所日数 242日
利用延人員 1,972名

障害児家族への援助

- 《障害児長期休暇スクール》
夏休み5日間 延参加者82名・ボランティア191名
冬休み3日間 延参加者38名・ボランティア75名
春休み2日間 延参加者26名・ボランティア47名



- 《障害児タイムケア》 ▲みんなで協力して作成した大きな絵
毎週水曜日、放課後の居場所の確保
実施日数43日 延利用者数386名

市内の福祉団体への事業助成 【赤い羽根共同募金配分】

- ① 高齢者福祉/老人クラブ連合会
- ② 障害者福祉/ワークショップ虹
車椅子レクダンス普及会
- ③ 母子寡婦福祉/母子寡婦福祉会
- ④ 児童青少年福祉/保護司会・少年補導員・保育協会・
青少年育成市民会・各校区青少年育成会・子ども劇場
みくにっご劇団・小郡三井少年の船・児童劇団つばさ
- ⑤ 地域福祉/民生委員児童委員協議会

社会福祉協議会 賛助会

賛助会費を通じて、様々な福祉活動へのご協力ありがとうございました。

個人会費	208件	325,000円
法人・団体会費	36団体	275,000円
戸別会費		2,359,800円

赤い羽根共同募金

募金のご協力ありがとうございました。

- ・平成25年度募金実績 9,873,347円
- ・東日本大震災義援金
25年度未累計支援額
3,761,947円
(25年度の義援金366,520円)



平成25年度 決算報告

【収入】101,734,497円

会費収入	寄附金収入	補助金収入	受託金収入	事業収入	共同募金配分金収入	居宅介護等収入	貸付事業収入	経理区分間親入金収入	預金利息・雑収入	施設整備等寄附金収入	固定資産売却益	積立預金取崩収入
2,959,800	1,735,972	36,506,000	13,019,898	3,501,228	7,469,500	21,671,524	238,000	2,881,779	1,217,706	3,682,105	1,000,000	5,850,985

【支出】100,997,577円

法人運営事業	共同募金事業	居宅介護事業	地域福祉ネットワーク事業	資金貸付事業	障害者地域活動支援センター事業
54,777,530	10,367,240	20,768,757	7,020,862	961,898	7,101,290

ボランティア情報センター

公益財団法人 車両競技公益資金記念財団より

“点字プリンター” 助成ありがとうございました



車両競技公益資金記念財団より、ボランティア団体「小郡点訳塾の会」に「点字プリンター」の助成をいただきました。

小郡点訳塾の会は、視覚障害者の方に読んでもらえるよう、市報や福祉関係団体の会報誌などの点訳をはじめ、要望によっては、家電製品の説明書などの点訳も行われています。

今回、助成いただいた点字プリンターは、設置スペースを考慮した小型で、点字両面同時印刷機能があり、用紙の入れ替えなしで印刷できる優れたプリンターです。この機器によって、点訳活動の幅がますます広がっていくことだと思われまます。



点訳の必要な方はご連絡ください。「塾の会」が出来る限り対応致します。
【問い合わせ】ボランティア情報センター TEL 73-1131



やすだ はやと 安田隼人 mini ライブ

IN 福寿荘
(デイサービス施設)
小郡市津古

6月12日(木)、シンガーソングライター安田隼人さんのミニコンサートが福寿荘で開かれました。「明日があるさ」「故郷」など懐かしい歌や安田さんオリジナル曲と楽しいトークを織り交ぜながらのライブ会場は手拍子と拍手で大盛り上がり、アンコールを含め7曲を披露いただきました。



【安田隼人(やすだはやと)1984年2月6日生】

千葉県を拠点にライブ活動やアーティストへの楽曲提供の創作活動の傍ら、来場できない方のために施設等に自ら出向きミニライブで高齢者や障害者、職員のみなさんに喜んでいただくボランティア活動も行う。安田さんからボランティアセンターへ電話をいただいたのがきっかけで実現したミニライブでした。

もしも、怪しい音ではないですよ。ボランティアでミニライブができるところをご紹介ください。



千葉から来るんですか!? うーん、当たってみたいですわー



ここでライブコンサート? 若い人の歌もいいかもね!



平成26年度『福祉レクリエーションボランティア講座』

レクリエーションを学んでボランティアしませんか。

- ◆会場：小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」多目的ホール
- ◆対象者：講座終了後、地域のサロン活動でボランティア活動できる方。ネットワーク活動等に携わってある方。レクリエーション活動等に興味のある方。
- ◆参加人員：50名程度(先着順)
- ◆参加費：100円(保険代) ※テキスト代は、2,000円です。

【申込み・問い合わせ】

小郡市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL 73-1120

この講座は、福岡県レクリエーション協会公認指導員資格取得認定講座です。



日程	全日午後2時～4時
1回目	9/30(火)
2回目	10/7(火)
3回目	10/15(水)
4回目	10/21(火)
5回目	11/5(水)
6回目	11/11(火)
7回目	11/18(火)



ウエルファ通信



小郡市社会福祉協議会

賛助会員ご加入

ありがとうございます

6月30日現在(順不同)

次の方々より、小郡市社会福祉協議会賛助会
員のご協力をいただきました。ありがとうございます。

ご協力いただきました会費は、地域福祉活動
に活用させていただきます。(順不同・敬称略)

〔個人会員〕

寺崎 律子 光澤 康基
福田 悦男 牛島 美絵
吉賀 道子 江上 満雄
野瀬 廣見 重松クニ子
中村 英俊 西岡嘉代香
池松美穂子 田中 俊子
安永 茂哉 久米 啓介
井手 康夫 高木 太二
竹内 努 安部 達也
川島 昭成 佐藤美恵子
上野 寛教 佐藤 祐介
磯野 一司 山口 洋子
山下 廣昭 荒巻 智和

小峰 秀樹
橋尾 憲保
藤本 益吉
川村 浩一
松本 純也
柏原 孝俊
上田 恵
西江 幸子
嶋 孝明
林 福子
有馬 義明
森田ひとみ
野瀬 賢一

徳塚 純子
徳塚 照香
半田シマ子
毛利 嘉宏
成富 由弥
伊東 洋子
高橋 治隆
半田 眞
肥山 和之
有隣 功明
永利 由希
塩足 隆志
佐藤 秀行
清武 輝
大津洋一郎
高田 博治
幸田賢一郎
星野 勉
松野 雅行
馬場 崇
中山 敦子
松枝理子
辻 聡太
黒田 孝幸
木下 和也
前田 亜耶
濱田 優作
首藤 豪規

重石 充
徳丸 直樹
田中憲一郎
大谷 拓也
河辺 龍二
徳田 博樹
神代 美紀
上飯屋一博
上飯屋文子
中村 文
永利 和則
藤本 和彦
中島 弘昭
小中 謙一
興合 久喜
檜枝 正隆
緒方 裕彦
笠口 愛子
野口 成之
山下 洋子
田中 由美
三根 順平
徳田 久代
大場美保子
古川 浩史
佐藤 雄史
原田 真弓
大塚 光

光安 浩一
美山 徳博
新木 秀典
諸富 和彦
深江 義彦
緒方麻衣子
福田 悠樹
福山たまき
永尾 美徳
山本 豊
藤原 研二
成富 博範
平田 聡
関分 浩史
植原 正明
植原 弘幸
日吉和喜子
新井 友昭
木下 幸江
濱村 美江
山見 恵一
藤田 耕二
的場 修二
田中 匡和
田中 康広
榎 弘剛
高田 俊一
小畑 松明

高田寿賀子
東園 清隆
成富 啓明
橋本 昭泰
佐々木理美
小野門美納
浮池 彩加
坂田 仁
矢野 清文
原田 紗代
早野 純子
山口はるみ
諸富 紀子
藤吉 宏

〔団体会員〕

味坂校区民生委員
児童委員協議会
親和会
ア・ネスト平見
白傘会
小郡市母子寡婦福祉会
小郡市保育協会
味坂小学校児童保育所
小郡校区区民会
道路建設課有志
取納課有志
小郡手話の会
宝徳倶楽部
東野校区民生委員
児童委員協議会
社協 役員

ススス社協



チェック



— ホームヘルプ資質向上のため —
いろいろな研修に参加し、納得
できる仕事づくりを目指していま
す。
資格をお持ちの方で現場を離れ
ておられた方、資格取得をされて
経験がない方も各研修を受講する
ことで、スキルアップ
を図ります。又、活動
に慣れられるまでは、
職員スタッフが丁寧に
指導いたします。



家事支援の基本研修

ホームヘルパー募集

臨時費付です

〔内容〕

高齢者・障害者のホームヘルプサービス
*就業時間・日数は相談に応じます

〔資格〕

・ホームヘルパー養成研修2級課程研修
以上の修了者
・看護師の資格を持つ方

*右記資格者で、自己所有車輛で訪問活動
が可能な方

〔賃金〕

・時給 1,000円
(土・日・祝日 1,100円/時間)

〔その他〕

・6月・12月に職能手当、処遇改善手当あり
ミーティング、研修旅費支給。
*労災加入

〔問合せ〕

小郡市社会福祉協議会
TEL 73-1120

福祉のしごと就職フェア 2014 in FUKUOKA

福祉の仕事希望される方、福祉に関心のある方などを対象に「福祉のしごと就職フェア」を開催します。求人情報がある事業所などが参加し、個別に面談を行います。

また、福祉に関する資格や就職相談等を行います。

■日時

8月8日(金)

○就活応援セミナー

11時30分～12時30分

(受付 10時30分～11時30分まで)

○就職面談会

13時～16時

(受付 12時～15時30分まで)

■会場

クローバープラザ

春日市原町3-1-7 (JR春日駅前)

※公共交通機関をご利用ください

■対象者

社会福祉施設等への就職希望者及び平成27年3月末の大学・専門学校卒業予定者(高校生不可)

※託児あり(要事前申込みのこと)

■問合せ

福岡県社会福祉協議会

人材・情報課

TEL 092・584・3310

第64回「社会を明るくする運動」

「犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ」

7月は「社会を明るくする運動」強化月間です。

罪を犯した人もやがて社会に戻ってきます。これらの人たちが再び罪を犯さないように、立ち直りを助ける取り組みが「更生保護」と呼ばれています。

立ち直りを果たすためには、地域社会の支え(地域のチカラ)が必要とされ、すべての国民が、この考えに理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築いていこうという運動です。



おかえり。

更正させることができるのは、地域社会の理解しかありません。立ち直ろうする人たちを温かい目で見守る運動にご協力をお願いします。

小郡警察署からのお知らせ

小郡警察署 TEL0942-73-0110



入江信行 交通課長

今春3月、南署から転勤してきました。田主丸町で育った私には小郡市は親しみのある街です。地歴を覚えながら街のいいところを探しています。夏の交通安全運動が始まりました。(俺)がやる。チーム小郡 交通ルールを守り飲酒運転と交通事故ゼロを目指しましょう。

(俺)がやる。チーム福岡



夏の交通安全県民運動
7月10日(土) 7月19日(日)
10時～12時 10時～12時

ご存知ですか? 自転車はどこを走る?

自転車は車両です、道路の左側を走りましょう。
70歳以上の方は標識が無くても歩道を通れます。

車道通行が原則



路側帯も自転車は左側通行です。

例外 歩道を走行する場合は…



次のいずれかに該当する場合は、普通自転車は歩道を走行することができます。

●自転車歩道通行可の標識(下図)があるとき



●13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な人が運転するとき

●道路工事や駐車車両等のため車道の通行が困難な場合

※ただし、歩道通行が歩道通行可でないよう標識が設置されている場合は、歩道を通行できません。

お詫びと訂正

151号9ページ「歩道を走行する場合は…」の文章内で普通自転車が普通自動車となっておりました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

あなたの悩みを心配ごと相談へ

相談事業は、心配ごと・困ったこと等、住民の生活に関わる様々な問題を気軽に相談できる窓口です。



- ◆場所 小都市総合保健福祉センター「あすてらす」1F相談室
- ◆日時 毎週木曜日 午後1時～4時
- ◆体制 心配ごと相談(第1、3、5木曜日)は、相談員2名で対応します。
弁護士相談(第2、4木曜日)は、弁護士1名と相談員2名が同席し対応します。
相談日が祝日の場合は翌日に行います。詳細は社会福祉協議会窓口でお尋ねください。
- ◆お願い 弁護士相談の申込みは下記の日程表の通りです。
電話【73-1120】による受付予約制、先着6名まで受付。希望者が多く相談をお受けすることができない場合があります。※来所による受付は行っておりません。

7月の相談日程		8月の相談日程		9月の相談日程	
3日	心配ごと相談	7日	心配ごと相談	4日	心配ごと相談
10日	弁護士相談 *予約日:7/3(木)午前9時～	14日	休み	11日	弁護士相談 *予約日:9/4(木)午前9時～
17日	心配ごと相談	21日	心配ごと相談	18日	心配ごと相談
24日	弁護士相談 *予約日:7/17(木)午前9時～	28日	弁護士相談 *予約日:8/21(木)午前9時～	25日	弁護士相談 *予約日:9/18(木)午前9時～
31日	心配ごと相談				

寄附による社会貢献活動にご参加ください

*「香典返し寄附」

香典額の半額程度の品物をお返しするのが一般的ですが、そこで品物を贈る相当額もしくは一部を社会貢献活動として寄附。

*「一般寄附」

事業所や法人団体、個人またはサークルやグループ活動、ボランティア活動を通じて社会貢献活動参加を意図する寄附。お祝い事や記念行事に伴う返礼の一部を社会貢献活動として寄附。

*「物品寄附」

事業所や法人団体、個人等より福祉車両や車椅子、福祉学習用具、福祉レクリエーション用具など福祉活動に用途目的の物品寄附。

お寄せいただいたご寄附は、「小都市の福祉活動向上」に活用させていただきます。皆さまの寄附による社会貢献活動へのご参加をお待ちしています。

寄附に関する問合わせ
小都市社会福祉協議会
☎73-1120

- 一般寄附
- ・中央1区 高木秀輝 様
- ・中央1区 藤間清豊 様
- ・みちくさ映画鑑賞会 様

- 香典返し寄附(願不同)
- 故人となられた方のご冥福を心からお祈り申し上げます。
- 大保区 藤田 利秀 様 (故母シツカ様)
- 乙限区 池田テル子 様 (故夫哲男様)
- 東福童区 古賀 則男 様 (故父俊文様)
- 開1区 野口 喬 様 (故母フサエ様)
- 下町区 野瀬 哲博 様 (故父廣見様)
- 美鈴が丘区 小野 太朗 様 (故母初榮様)
- 開1区 堀田フクエ 様 (故夫直規様)

次の方々から温かいご寄附をいただきました。
この寄附金は、市内の福祉向上のために大切に使用させていただきます。(平成26年5月2日～6月30日)

社会福祉へのご寄附
ありがとうございました



税金に関する無料相談会

- ◎ 8月5日(火)
- ◎ 9月6日(土)
- 【時間】13時～16時
- ※予約優先
- お一人30分程度
- 【会場】あすてらす
- 【問合せ】藤井税理士事務所
☎0942-72-4322

- チャリティイ健康ヨガ教室 (6月15日開催分)
- 東日本大震災災害義援金として、46,471円 福島県災害対策本部へ送金させていただきました。
- ありがとうございました。
- ◎ 8月24日(日) 10時30分
- ◎ あすてらす



明治時代初期から、柳川の自社工場へ彫りあげられたお仏壇
 造幣・おじーにじざが得意
 本物の手塗りのお仏壇

(株)川口仏壇店 小郡店

☎0942-73-2156

■ 小郡市小郡793大原中学院前
 ■ 9:00~18:30(日・祝は18:00)
 ■ お正月・お盆過ぎ ☎0942-73-5955



一般歯科・小児歯科・訪問歯科

審美歯科・ホワイトニング・インプラント 相談無料



りんご歯科

診療時間/9:00~19:00 休診日/日曜のみ

小郡市三沢4795-9 TEL(0942)75-7118

福岡県認定 高齢者向け優良賃貸住宅

シルバーハウジング胡蝶閣



施設見学会
 随時受付中

特定非営利活動法人 武光福祉会

福岡県小郡市高田町2315-3 ☎0946(22)9743

【ホームページ】<http://www.takemitsu.org>

ディスカウントブティック A&B



通常価格の
4割~7割引
 が当店価格!

- Summerバッグ
 - 千代田帽子
 - パンダス
 - シルバーアクセサリー など多数
- (例)
 ● チュニック... 2,800円~3,800円(税込)
 ● Tシャツ... 1,000円均一
 他 2,000円~4,000円台中心

ディスカウント
ブティック A&B

TEL 0942-65-7376

小郡市低田1-16-10
 オフィスビル内



お盆ご奉仕会 好評開催中

各宗寺院保用達、仏壇製造販売、墓石設計・施工・販売

お仏壇のまつお

株式会社 松尾仏具本店



久留米市東櫛原町212-1

久留米店 ☎0120-46-5754

Mr George

